

# 医薬品の主作用・副作用とは！？



## しゅさよう 主作用

…医薬品を使用する本来の目的である、**病気の治療**や**健康を保つ働き**のこと。

(熱が下がった、せきが止まった、など)

この主作用が、私たちの体が持っている**自然治癒力**を助けてくれます。

## ふくさよう 副作用

…本来の目的以外の**好ましくない働き**のこと。

(医薬品を使用したことで、眠くなったり、体にぶつぶつができたたりする、など)

## <副作用が起こる主な原因>

- 医薬品を使う人の体質によるもの
- 医薬品を使った人のその時の体調によるもの
- 医薬品がもっている性質によるもの
- 医薬品の使い方によるもの

## <副作用の危険を避けるために>

### ● 医師・薬剤師などに伝える

病院を受診した時、薬局やドラッグストアで一般用医薬品を購入しようとする時は、医師や薬剤師などに**自分の病状や体質(アレルギーなど)、副作用の経験、のんでいる医薬品などの情報**をしっかりと伝えましょう。

### ● 自分の薬を知る

自分がのむ医薬品について、のみ方(のむ回数、のむ時間、のむ量)、効果、予想される副作用やその対処法、一緒にのんではいけない医薬品や飲食物などを事前にしっかりと確認しましょう。

### ● 用法・用量を必ず守る

「早く治したいからもう1錠」などの**自己判断は絶対にしてはいけません!**また、他の人が病院でもらった医薬品を使うこと(使いまわし)はもつてのほか、症状が似ているからといって以前もらった医薬品を使うこと(再使用)もしてはいけません。

## 医薬品の説明書をきちんと読もう!

薬局や病院で医薬品を受け取る場合は説明書(薬剤情報提供書といいますが)が渡されます。薬局やドラッグストアで買った医薬品の箱の中には説明書(添付文書といいますが)が入っています。皆さんは医薬品の説明書をきちんと読みますか? 説明書には、医薬品をのむ回数、のむ時間、のむ量、効果、副作用、そのほかにも注意することなど、大切なことがたくさん書かれています!

## 薬を使う前に必ず目を通し、使い終わるまで薬と一緒に保管しておきましょう!

### 《出張相談会— 保健室に薬剤師が来ます》

おくすりナビ、医薬品や健康などについて、質問・相談がある人は保健室まで!

5月16日 午後4時00分~4時30分

作成・発行元 北陸大学薬学部 准教授(薬剤師) 大柳賀津夫  
金沢大学医薬保健研究域薬学系 教授(薬剤師) 松下 良  
金沢大学医薬保健学域薬学類6年生 中川璃子